

令和7年2月14日

保護者 様

瀬戸内市立邑久中学校

校長 松 田 典 久

令和6年度 学校評価アンケートの結果について（お知らせ）

梅花の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校教育推進のために格別のご支援を賜り感謝いたしております。

さて、昨年末にご協力をお願いしました「学校評価等アンケート」の結果のとりまとめができましたので、次のとおりご報告いたします。

記

本年度は学校教育目標「未来へ。誠実に人生を生き抜く人」に基づき、指導の重点を「将来自立した社会人となるための力(*1)の育成」としました。そして、その力を身につけるために、次の3項目(*2)を学校経営の重点（力のいれどころ）として取り組んできました。

(*1)自分で考える力・自分で決める力・自ら実行する力・自他共に受け入れる力

(*2) ①人権意識の高揚 ②確かな学力 ③特別支援教育の充実

また、生徒も教員も笑顔で元気な学校にするために、～日本1の学校になるための「邑」プラン～として次の5点に力を入れてきました。

- 笑顔の挨拶 ○ 校歌が響く学校 ○ 夢を持ち、努力する生徒
- 自分を大切に他人を大切にできる生徒 ○ 生徒主体の活動

1 アンケート結果について

保護者用、生徒用ともに、集計結果はホームページに掲載させていただきますので、そちらをご覧ください。



(QRコード)

2 学校経営に関わる3つの重点について

(1) 重点1「人権意識の高揚」について

- ① アンケート結果から「私は『自分を大切に他人を大切に』にすること（相手のことを考えた声かけや行動等）を意識して行動している」について、生徒全体の肯定的意見は86%でした。日々の生活を土台にした人権教育・道徳教育・特別支援・自立支援の成果が生徒の高い肯定率となって現れたと考えています。今年度は学年やクラスでの人間関係づくりのプログラムの実施や生徒会、専門委員会の年間計画の中に人権を意識した取り組みを位置づけました。

「学校は【先生は】、生徒の考えをよく聞き、人権や人格を十分尊重している」については保護者:77%、生徒:82%）と高い肯定率を示しています。今後、さらに向上できるように学校の指導の意図を保護者・生徒と共有していきます。

- ② 「道徳の授業を通して自分の見方・考え方が深まったり広がったりした」は、82%と高い肯定率となりました。道徳の授業では担任以外の教員も授業を行うことで、道徳指導の充実を図っています。今後も、生徒の見方・考え方が深まり、広がることによって、多様性と調和が求められる現代社会に対応できる生徒の育成につなげていきます。

- ③ 「学校は居心地のよい学校（学級）づくりをしている【居心地のよい学校（学級）である】」について、肯定的意見は生徒の76%に対して、保護者は83%と高い数値となりました。集団の人間関係を見取るQ U検査を年2回実施し、学級集団の状況を把握しています。学年主任や生徒指導主事を中心にSNSに起因するトラブルも一つ一つ丁寧に指導しています。

(2) 重点2「確かな学力」について

- ① アンケート結果から、「授業中、自分で考えたり、表現したりする活動に意欲的に取り組んでいる」については78%と高い水準です。1時間の授業の中で、自己決定の場を2回以上、主体的な活動の場を15分以上設定する取り組みによって、「主体的・対話的で深い学び」の場面を多く作り出し、受け身ではなく、自分から発信できる生徒が増えています。
- ② 「家庭で計画的に1時間以上学習（自主学習等）することができている」の肯定率はどちらも上昇し、生徒は63%（昨年度59%）、保護者は46%（昨年度40%）でした。特に3年生については20%アップしました。自主学習ノート「Step Up」は来年度はさらに改善する予定です。1週間の見通しを持って時間の使い方を考える計画力を育て、生徒が自ら家庭学習に取り組めるように考えています。ご家庭でもお子様にお声がけいただき、学校と協力して計画的で自主的な家庭学習の習慣を育て、学力の確実な定着につなげていきたいと思ひます。
- ③ 「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている」生徒の肯定率は77%と高い水準でしたが、教科と教科、教科と行事など学びがつながることによって、さらに主体的な学びにつながることを狙います。

(3) 重点3「特別支援教育の充実」について

- ① 「学校は【先生は】生徒の悩みや心配事に対して親身に相談にのってくれる」（保護者:77%、生徒:79%）と高い肯定率でした。定期教育相談や生活アンケートを充実させ、一つ一つの問題に丁寧に対処してきた結果であると受け止めています。今後ご家庭との協力を大切にしながら生徒を支えていきます。
- ② 「学校は【先生は】一人一人に合った支援をしてくれる」については生徒の肯定率は84%、保護者は76%で、保護者については一昨年より12%向上しています。各学年とも、休憩時間を含めて切れ目の無い見守りの体制をとったり、個々のケースに合わせて外部機関を含めた連携を図ってきたりした成果であると考えます。

3 その他

- (1) 「家庭でスマホ・テレビ・インターネット等のルールを決めている」（保護者:67%、生徒:64%）は肯定率が低く、学校では引き続き学級活動や道徳、技術の時間等に情報モラル教育を行っていきます。ご家庭でもルールづくりや適切な使い方についての話し合いをお願いします。
- (2) 「教職員は、電話の対応、来客時の接客マナー、言葉遣い、身だしなみがきちんとしている」については保護者の肯定率は94%でした。今後も、教育に携わる者としての自覚や使命感、強い自制心を持ち、市民や保護者の方、生徒からの信頼を裏切ることのないよう行動していきます。

4 おわりに

たいへんお忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。生徒や保護者の皆様が日頃感じられていた思いやご意見の一つ一つを真摯に受け止め、生徒一人一人が充実した学校生活を送れるよう最善をつくしていきたいと思ひます。

今後ともご理解ご支援のほどよろしくお願いいたします。